

うつくしやま だより

学校の教育目標

自立をめざす生徒

～自分を生かし 社会に貢献できる人間になる～

学校だより
R2. 11. 30
山県市立美山中学校

<生徒のみなさんへ>

後期の活動が開始しました。生徒会役員の人たちも新しい組織の活動を開始しています。コロナ禍であるからこそ、みんなが楽しいと思える学校生活をめざして頑張ってくれるという決意に期待しています。各学級でも、新しい係になった人、前期に引き続き同じ役割をする人、新しい班になって、気持ちを新たにしている人が多いと思います。こうして節目を付けて組織を見直すには、人間がこれまでに学んできた知恵があります。人間は「安定」を好みます。何かを変化させようとする、そこに新たなエネルギーが必要になるからです。



「今まで通り」に行くことは、とてもおだやかで楽であるため、エネルギーを他のことに使えるといういい点があります。ところが、良くない点もそのまま続けられてしまうという危険性もあります。そこで、人間はわざわざ節目をつかって、自分たちの組織の見直しをすることにエネルギーを使う方を選びました。新しいメンバーになるかどうかというより、一度みんなで見直してみようということが大切です。新しい班のメンバーや前と同じ班のメンバーと一緒にあったなど様々だとは思いますが、前期の仲間関係づくりで自分が反省したことを、ぜひ後期に改善できるみなさんであってほしいと思います。

3年生のキャリア教育は、日本各地で働く先輩たちのお話を聞く学習でした。昨年度まで本校におられた橋本先生の同級生や学生時代のバイト先の店長さんなどを講師として招き、ZOOM（オンラインテレビ会議システム）で仕事を選ぶに至った経緯ややりがいなどを話してもらいました。飲食業の店長さんはコロナ禍の中で苦労されながらもお客さんの信用をどう得たのか、病院の臨床工学技士さんは学生時代の考え方の甘さをどう乗り越えたのか、大手建設会社の現場監督さんは安全を確保するためにどんな視点が必要か、新規証券会社の営業担当さんはお客さんとのコミュニケーションでどんなことが大切か、を話してくださいました。進路決定を目前に控える3年生の皆さんにとって、中学生の時に考えておいた方が良いことを学ぶ機会になったと思います。1,2年生の人たちも、いずれはやってくる自分の進路選択を、職業を決めるのではなく、自分の好きなことや得意なことは何か、今の自分は他人とどう関わっていているかなど、考えてみるのは大切です。



音楽会で演奏して下さった警察の方々も、合唱交流会が中止となってさみしい思いをしているみなさんに少しでも楽しんでほしいという願いからボランティアで来て頂けました。日頃から人のためにできることをしたいと考えておられるからこそ、警察の仕事に就かれているのだろうなあと感じました。



<保護者の皆様へ>

新型コロナウイルス感染は、ついに第3波と言われ、県内でも連日2桁の新規感染者が出ています。他府県では学校行事でのクラスターが発生するなど、心が安まりません。まだまだ生徒たちには我慢を強いることが続きますが、少しでも学習に集中でき、また安心して楽しい学校生活を送れるよう職員一同、努力を続けています。引き続きご協力をお願い致します。